

視点

山と川に囲まれた小さな学校のしなやかな挑戦 ～それぞれの色で輝く学校～



飯能市立名栗小学校 校長
(令和6年4月～現在)

まつお
松尾 みのぶ 氏

プロフィール

「子どもがありのままにいられる学校づくり」「多様性を尊重し、一人一人を大切にす学校づくり」を経営の方針とし、安心・安全な学校を目指している。名栗小学校の日々の活動をInstagramにて発信中。

子ども理解や保護者理解研修、人権研修等も実施している。

はじめに

名栗小学校は飯能市の山間部に位置する、全校児童49名の小さな学校です。山と川に囲まれて、豊かな自然に恵まれています。元から名栗に住んでいる家庭、自然の中で伸び伸びと子どもを育てたいと移住してきた家庭、小規模特認校制度を利用して区域外から通学している家庭が混在しています。

ここ数年、不登校など、様々な事情を抱え転入してくるケースが増えています。現在の日本が抱えている課題を身近に感じながら、名栗小学校からできること、名栗小学校から発信できることを日々模索しています。



名栗小学校が目指すもの

(1) 子どもがありのままにいられる学校

『できることも、できないこともあっていい。みんなと同じようにできなくても大丈夫。困ったら助け合えばいい。みんな一人の人として尊重しあう。』という考えが名栗小学校のベースとなっています。これが子どもたちの安心・安全につながっていると確信しています。

(2) 多様性を尊重し一人一人を大切にす学校

子ども一人一人の良さを見つけ、それを伸ばすとともに、個に応じた適切な支援を心掛けています。49人一括りではなく、自分の色を持った子どもたち49人がそれぞれの色で存在しています。(自分だけの色×49人=49色)そして、ここに教職員の色も交じり、実際にはもっとたくさんの方が存在しています。

お互いの色を尊重し合いながら、それぞれの色を称賛し合える学校！！想像しただけで幸せな気持ちになります。



本校の強み①

本校の強みの一つは保護者の力です。昨年度からPTAの皆さんが、名栗小学校PR映画を制作してくれました。ここには、名栗小学校のありのままの自分を大切にする教育を広く周知し、それに共感してくれる人たちが移住してくれれば嬉しいという想いや、今悩み苦しんでいる人たちにメッセージを届けたいという想いが込められています。

学校の経営方針を深く理解してくださっている保護者のみなさんのおかげで実現したことです。

2025年5月号の学校だよりで、制作中の映画について以下のように紹介しました。（一部抜粋）

現在制作中の名栗小学校PR映画の劇中歌『Small is beautiful』に「私は今、ここにいる」という歌詞があります。転入してきたつむぎさんが不安に押しつぶされそうになる中、自然の素晴らしさや名栗小学校、地域の皆さんの温かさに触れ心が開かれるシーンがあります。私はそのシーンから、自分が愛されている存在だと感じられた瞬間に『私』という存在に気が付き一歩を踏み出すことができると感じました。そして、「私は今ここにいる」という最高に自分を肯定する想いが湧いてきたのだと思いました。

今ここにいるありのままの子どもたちを受け入れ、愛することができる大人でいられたら何て素敵でしょう。私たち大人も自分の存在を肯定し認め、生きていきたいものです。

本校の強み②

名栗小の強みのもう一つは、地域の皆様の力です。名栗小学校を盛り上げようと思い、たくさんの方に協力してくださる姿は、とても尊く、感謝しかありません。こんなエピソードがあります。

地域の方から毎年、渋柿をいただいています。干しやすいように枝の剪定をしてくださってから、持ってきてくださるのです。そして、全校児童で皮をむき、学校の軒下に柿を干し、鳥よけの網を被せます。土日に学校に訪れた方々は、干し柿の具合を見てくれたり、外れた網を戻してくれたり・・・出来上がった干し柿を食べる子どもたちは満面の笑みです。ここには、たくさんの名栗愛が詰まっています。こんな、日々のエピソードを重ねながら、地域の皆様の愛情を感じる事ができる学校、それが名栗小学校なのです。

また、名栗小学校にふんだんに使われている校舎の木は、現在の校舎が建つ前の保護者の皆さまが、新しい学校のためにと共有林で手塩にかけて育ててくれた木なのです。『自分たちの子どものことだけを考えるのではなく、その先の子どものために』と育ててくださったそこに、名栗の方々の人間としての大きさと温かさを感じるのです。この温かさ名栗小学校の教育の土台となっていると感じています。学校に寄せてくださる地域の皆様の想いをしっかりと受け取り、大切に繋いでいきたいと思っています。

おわりに

子どもたちに「そのままのみんなが好き」とよく伝えます。いたずらする子も、わがままを言う子も、あまり学校に来ない子も、友だちと喧嘩する子も、全てが大切な子どもたち。どんな自分も大切にできる自分でいられてこそ、他者を大切にすることができると思っています。だから目の前の子どもの可能性を信じ、その子だけがもつ色を尊重しながら、ゆったりと子どもたちを見守ることができる大人でいたいものです。

山と川に囲まれた小さな学校のしなやかな挑戦は、まだまだ始まったばかり。皆様のお寄せくださる関心が大きな力となります。色々な色で自分らしく輝く名栗小学校へ、ぜひお越しください！